第１章　本県の都市の現状と課題

１. 都市計画区域の範囲及び規模

本県には、大和都市計画区域と吉野三町都市計画区域が指定されている。

２. 本県の現状

自然・歴史的環境

- 貴重な歴史文化遺産、美しい山並みや良好な自然環境、水田やため池からなる良好な田園風景など、奈良固有の景観が形成されている。

本県の都市の現状

- ゆとりある低層住宅地が形成されている。
- 県外就業率が高く、県内での雇用の場が少ない。
- 主要駅周辺における商業集積が少ない。
- 豊かな観光資源を有するが、宿泊者数が少ない。
- 幹線道路の整備が進んでいるが、ネットワークの形成が十分でない。
- 鉄道は、北部を中心に高密度なネットワークが形成されている。
- 人口減少、高齢化の進行において地域格差が生じている。
- 市街地周辺の良好な田園景観の維持・保全が課題となっている。
- 災害対策、防犯、救急医療など、安全・安心への県民の意識が高まっている。
- 主要鉄道駅のバリアフリー化整備率は他府県と比べて遅れている。

本県を取り巻く社会経済情勢の変化

- 人口減少社会の到来や高齢化の急速な進行、地球環境問題の深刻化、国民のライフスタイル・価値観の多様化など、これまで経験したことがないような社会経済情勢の変化が生じている。

３. 本県の都市計画の取り組むべき課題

魅力の維持・創造（奈良らしさを守り・育て・活かす）

- 豊かな自然環境や恵まれた歴史文化遺産等の保全・活用
- 良好な都市景観の形成
- 奈良らしいゆとりある住宅地の形成
- 吉野三町などにおける魅力ある地域づくりの推進

厳しさを増す社会経済情勢への対応（奈良のまちを元気にする）

- 産業・経済を支える道路網の形成
- 経済活性化につながる都市づくりの推進
  - ▶ 滞在周遊型観光振興に資する都市づくり
  - ▶ 多様な都市機能を有する拠点都市づくり
  - ▶ 産業機能の集積促進を考慮した都市づくり

安全・安心などへの対応（安全・安心で人・環境にやさしいまちとする）

- 安全・安心な都市づくりの推進
- 人・環境にやさしい都市づくりの推進